

## 平成30年上尾市教育委員会8月定例会 会議録

- 1 日 時 平成30年8月23日(木曜日)  
開会 午前9時30分  
閉会 午前10時38分
- 2 場 所 上尾市役所 教育委員室
- 3 出席委員 教育長 池野和己  
教育長職務代理者 細野宏道  
委員 岡田栄一  
委員 中野住衣  
委員 大塚崇行  
委員 内田みどり
- 4 出席職員 教育総務部長 小林克哉  
学校教育部長 今泉達也  
教育総務部 図書館長 関孝夫  
教育総務部次長 西嶋秋人  
学校教育部次長 石川孝之  
学校教育部副参事 兼 学務課長 伊藤潔  
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 瀧沢葉子  
学校教育部副参事 兼 中学校給食共同調理場所長 松本宣孝  
教育総務部 教育総務課長 森泉洋二  
教育総務部 生涯学習課長 小宮山克巳  
教育総務部 図書館次長 島田栄一  
教育総務部 スポーツ振興課長 長谷川浩二  
学校教育部 学校保健課長 荒井正美  
書記 教育総務課主幹 中釜ひろみ  
教育総務課副主幹 井上建一  
教育総務課主査 周曉蘭  
教育総務課主査 鳥丸美鈴
- 5 傍聴人 4人

## 6 日程及び審議結果

**日程第1 開会の宣告**

**日程第2 平成30年7月定例会会議録の承認**

**日程第3 会議録署名委員の指名**

**日程第4 協議**

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（平成29年度事業対象）

**日程第5 報告事項**

報告事項1 上尾市小中学校、幼稚園コンクリートブロック塀修繕の状況について

報告事項2 平成30年度後期の文化芸術関係催事予定について

報告事項3 市制施行・体育協会創立60周年記念第60回上尾市民体育祭について

報告事項4 平成30年度上尾市中学校全国・関東大会の出場者について

報告事項5 平成30年7月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について

**日程第6 今後の日程報告**

**日程第7 議案の審議**

議案第35号 平成29年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について

**日程第8 閉会の宣告**

## 7 会議録

### 日程第1 開会の宣告

(池野和己 教育長) ただ今から、平成30年上尾市教育委員会8月定例会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 4名の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いします。

(池野和己 教育長) 傍聴を許可します。ご案内してください。

~傍聴人入場~

(池野和己 教育長) それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

### 日程第2 平成30年7月定例会会議録の承認

(池野和己 教育長) 「日程第2 7月定例会会議録の承認」についてでございます。7月定例会の会議録につきましては、すでにお配りをし、確認していただいておりますが、ここで修正等がございましたら、お伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

~委員全員から「なし」の声~

(池野和己 教育長) 承認することにご異議ございませんか。

~委員全員から「異議なし」の声~

(池野和己 教育長) それでは、大塚委員さんにご署名をいただいて、会議録としたいと思います。

### 日程第3 会議録署名委員の指名

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第3 本定例会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、細野委員さんをお願いいたします。

(細野宏道 教育長職務代理者) はい。

(池野和己 教育長) 続いて、「日程第4 議案の審議」でございますが、審議の前にお諮りをします。本日提出されております、「議案第35号 平成29年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について」につきましては、市議会に提出することとなる案件でございますから、非公開の会議として審議したいと存じますが、ご異議は、ございませんか。

(池野和己 教育長) それでは、ご異議がないものと認め、会議を公開しないものとして、決定いたしました。また、この決定を受けまして、予定されていた本日の日程を変更いたします。最初に、協議、報告事項、今後の日程報告を行い、その後、非公開の会議として議案第35号の審議を行いたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

#### **日程第4 協議**

(池野和己 教育長) それでは、協議でございますが、協議事項といたしまして、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」が提出されております。これに関する説明をお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」森泉教育総務課長が説明申し上げます。

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、お手元の協議資料をお願いいたします。こちらに関しましては、5月の教育委員会定例会で点検・評価制度の基本方針をお示したところでございます。制度の概要といたしましては、教育委員会所管の事務の管理及び執行の状況につきまして、評価作業を行い、評価結果につきましては、議会へ報告するとともにホームページや情報公開コーナー等におきまして、市民の方に広く説明していくというものでございます。お手元の評価結果の資料につきましては、これまで、事務局各課において実施してきたものの結果報告となっております。こちら協議資料の中、1枚開いていただきますと、協議名がございまして、施策評価結果32施策ということで書いてある、こちらの資料になります。まず、評価の内容でございますが、第2期上尾市教育振興基本計画の基本理念であります「夢・感動教育 あげお」の実現に向けた、7つの基本目標を達成するための、それぞれ32の施策に対しまして評価を行っております。昨年度までは、施策と事務事業のそれぞれを評価していましたが、重複する点も多いことから、施策について評価をいたしまして、評価する際に、担当ごとの事務事業を参考資料とさせていただいております。昨年度までと大きく変わっている点としまして、数字を使った評価の中で、実際の達成度と評価が合っていないなどのご意見がありましたので、今回、文章による評価ということで表させていただいております。ただし、表や数字を使うことで効果的な場合は併用するような形をとっております。また、評価の方法でございますが、施策評価ごとに主要事業の実施状況を点検いたしまして、それぞれの担当で自己評価を行いまして、「成果、課題、改善点、今後の方向性」などを明らかにしております。次に、点検評価報告書の策定スケジュールでございますが、まず、本日の教育委員会で、教育委員の皆様にご意見等をいただきまして、修正を加えさせていただきます。また、本日の協議の中だけでは、なかなか、足りないものもあると思いますので、本日の協議以降におきましても、お気づきの点がございましたら9月7日の金曜日までに、ファクスやメール等でご意見をいただきたいと考えております。そちらに関しましても、担当課に確認いたしまして、あわせて修正をさせていただきたいと考えております。また、修正をいただいた内容のものを9月に外部評価として、3名の学識経験者のご意見をいただきまして、点検評価の報告書をまとめていきたいと考えております。3名の学識経験者の方につきましては、昨年度に引き続き、聖学院大学政治経済学科の特任教授の井上兼生先生、元小学校長で元教育委員でもありました吉田るみ子先生、また、元上尾市職員で生涯学習課長を務められた赤石光資氏にお願いする予定でございます。こちらの3名の学識経験者の方の知見のチェック、ご意見をいただきまして、10月の

教育委員会定例会に議案を提出させていただきまして、審議させていただきます。再度委員の皆様にご審議をいただいた上で、ご了承をいただきましたら、最終的に、「上尾市教育委員会の事務に関する点検評価報告書」といたしまして、平成30年12月議会に、報告をさせていただく予定としております。協議事項の説明につきましては、以上でございます。よろしくお願いたします。

(池野和己 教育長) ただ今、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価について」説明をいただきました。これについて、質疑、意見等ございましたら、お願いします。

(大塚崇行 委員) 今回、事務事業評価をなくして、あと、施策の評価指標、あと、事務事業の概要と事業費決算額等々がこちらの別冊の参考資料ということで、はずしてということで、見やすくと考えられたということなのですが、実際、こちらを見ながらこちらを見ていくと、そのつながりがものすごく悪くて、たいへんびっくりしました。パズルを見ているような感じでした。実は、こちらの参考資料の方も頭にはそのまま文章が書いてあるのですが、一番最後に目次のようなものがあるのですよね。それを最初、私は気づかなくて、こちらの順番で最初から見ていて、こちらの順番が基本的には合っているのですが、参考資料の中で再掲が新たに出てきたり、そうすると、こちらと合わなくなってくるということがありまして、たいへん見づらかったということがあります。できれば、協議の3ページのさわやかスクールサポート事業というのが、こちらでいうと1番になっています。こちらにも番号を振っておいていただけると、1番のことがこちらの1番に書いてあると、これがちょっと飛んでしまって、10番となってしまうと、こちらで10番とはどこに書いてあるのだろうというような、文章を見ればわかるかもしれないのですが、ことらとこちらの連携がたいへん悪いと思ってしまって、見づらかったということが正直ありました。そのへんを見やすく整理していただければと思います。

(森泉洋二 教育総務課長) ありがとうございます。今回、大きく掲載の仕方が変わった部分がありますので、ページの見やすさに関しましては、もう一度検討させていただきたいと思います。

(大塚崇行 委員) 間違いではないかと思うのですが、参考資料の最後から2枚目、基本目標Vの施策3、再掲41とありまして、次ページに45というのがあるのですが、47ページの施策3のところには41の内容が載っていません。そこは、45しか載っていないと見えますので、確認していただきたいと思います。

(池野和己 教育長) 教育総務課長、今のところをもう一度確認していただけますか。

(森泉洋二 教育総務課長) ただ今、大塚委員さんから指摘のありましたところが47ページになります。こちら、「学校施設開放」のみの掲載となっております。ご指摘ありましたように、「生涯学習指導者活動推進事業」につきまして、再掲ということで、掲載を検討させていただきます。

(池野和己 教育長) それでは、それについてはよろしくお願いたします。他にありますか。

(細野宏道 教育長職務代理者) それでは、基本目標Iについて2点ほどお伺いをします。先程、教育総務課長から、これは今後の方向性を明らかにしていくということで明言がありました。それに則って質問させていただきます。まず、施策1のところ、今、取り巻く状況というのは、ギャップを解

消すとか、学力向上する、人材確保する、授業研究をする、やることがいっぱいあるのは理解しています。その一方、働き方改革というのもあって、ある新聞の投書に上尾市の主婦から「子どもが学校の先生になりました。」と、そういうこともあったのですが、今後、そのへんをどうしていくか。やることがいっぱいあるのだけれど、働き方改革とか、人材確保が難しいということで、これはほんとうに行政、いわゆる文部科学省とか県のを待っているだけではなくて、上尾市としても、今後、そういうことが出てくるので、そういうことをどう考えていこうよというのをプロジェクト委員会のようなものを作って、どのように対処していくことが考えられていくかということ、大きいことですが、お聞かせ願えればと思っています。それが1点。もう一つですが、施策2のところ、平成30年で在留外国人が上尾市では1.29パーセントを占めています。それで、外国人の児童生徒が確実に増えていくというのは、確実に予想されていることです。施策2の中で「外国人児童生徒に対する支援」ということをうたっておりますが、今後、児童生徒がどのように増えていかれるかというシミュレーションをされているのかということをお伺いしたいと思っています。基本目標Iについて、その2点を伺いたい。以上です。

(伊藤潔 学務課長) 第1点の働き方改革についてですが、委員さんおっしゃるとおり、いろいろなことをやらなければいけない。一方では、それを全部同じように学校にいろいろ求めていくか、当然、負担は大きくなっていくので、新たな事業を起こすに当たっても、今までの進行についても、常に学校の負担の軽減という視点を持ちながら、各課で今現在も動いています。そういう情報を各担当課だけではなくて、昨年も開いたのですが、学校の負担軽減という視点でそれぞれの課で取り組めることはなんなのかという情報交換の場も学務課を中心につくっております。ただ、そうはいても、学校の負担というのは増えていくということなので、サポートスタッフを入れられないとか、新たな、様々なアイデアを出し合って、取り組んでいかなければいけない。学校の質を高める上では、やはり先生たちの負担軽減を図っていかないと、いっぱいいっぱいになってしまいますので、そういう視点が大事だと思っています。

(細野宏道 教育長職務代理人) ぜひ、発信し続けていただければと思います。

(伊藤潔 学務課長) 2点目についてです。外国人そのものの数は増えてきているのですが、学校から学務課に要望があがってくる日本語指導の指導員さんの派遣については、微増の状況です。20数人から30人くらいのところです。ただし、全体的に外国人の数が今後増えていく以上、減っていくことはなく、増えていくことが予想されると思っています。明らかに、これくらいの数で増えていくだろうというシミュレーション等は、現在できておりません。

(細野宏道 教育長職務代理人) わかりました。

(池野和己 教育長) 他にありましたら、お願いいたします。

(岡田栄一 委員) 学校保健の施策の6で、26ページの学校保健の充実についてです。そこに、簡単に「過去にむし歯になった本数を表すDMF保有数は、定期健康診断や歯科保健活動により極めて少ない状況にあります。」とあるのですが、確かに少なくともはなっていますが、地域格差とか、家庭格差というものが、すごく出ていますので、そのへんも考慮した表現をいただければと思います。地域の格差というのは、埼玉県内でもよい所と悪い所では6倍の格差があると話を聞きまして、それから、

家庭でいくと、困窮している家庭ですと、普通の家庭の4倍むし歯が多いということがありまして、ただ単に、数字だけ見てよくなっていると言うのではなくて、その中の細かいところの底上げについて入れていただければと思います。以上です。

(荒井正美 学校保健課長) 確かに、岡田委員さんがおっしゃるとおり、最近、子どものう歯というのは予防意識の高まりで、減少傾向にあるのですが、一方で、地域の格差ですとか、学校間の格差があるというところがございます。また、子どもの貧困というところで、口腔崩壊というか、う歯がたいへん多い児童もございますので、そのへんも考慮しながら、フッ化物洗口の実施ですとか、あるいは定期健康診断等をきちんと受診するとか、そういった基本的な指導をしていきたいと思います。また、食後の歯磨きですとか、セルフチェックですとか、あるいは、生活習慣の見直し等も指導して、改善を図りたいと思いますので、そのような視点で記載内容を検討させていただきたいと思います。

(池野和己 教育長) はい。それでは、よろしく申し上げます。

(岡田栄一 委員) そういった言葉を載せてもらうだけでもだいぶ違いますので、ぜひとも、お願いします。

(池野和己 教育長) 他にございますか。

(中野住衣 委員) 先程、教員の働き方改革についてありましたけれど、それに関わって2点ほど意見を述べさせていただきます。22ページの「教育相談の充実」のところにも不登校対策ですとかいじめへの対応ですとかその内容についての施策や事業が書かれています。毎月不登校やいじめの数値を見るたびに心が痛むという強い危機感を覚えるわけですが、最近、内容が個々に複雑化、多様化してきているので、どういう対応をしたら問題解決するのか、難しいなと常々感じています。施策としましては、スクールソーシャルワーカーの対応(人数が増えました)、教育センターの適応指導教室、さわやか相談室、相談室に定期巡回して指導するスクールカウンセラー、様々な職の方がその対応に協力して尽力されています。そこで、私が考えることは、もう一度、今後の方向性を明らかにし、それぞれの職の方がどう連携して児童生徒に関わっていくか、今後を予測し、新たな視点を持って施策を見直す時期になっているのかと考えます。そのへんの意識が欲しいと感じています。今後、関係機関がより一層有効に機能していくと、教員の働き方改革に係り、教員の多忙感の軽減にも繋がるのではと思いました。実際に学校現場の様子を伺うと、放課後の会議が終わると、事務室の電話に先生方が並ぶということです。欠席をした児童生徒への連絡、不登校・いじめに関わる問題等への対応、様々な内容について家庭へ連絡するため、遅くまで電話をしているお話を聞いて、先生方の多忙感を軽減するためにも、ぜひ、ここで見直しを行い、施策の更なる充実を図っていただければと思います。よろしく願いいたします。もう1点は、37ページに「ICT教育の推進」があります。ここ何年かで随分施策が進み、成果を上げたのだなと思いました。デジタル教科書を導入して大型モニタの活用率が小中で8割、授業が変わってきたということです。今後、タブレットパソコンの活用もより進んでいくことが予想されますので、この施策については、これからの社会を見据えた重要な施策だと考えます。私が懸念するのは、教員によって、例えば教員の年齢によって、パソコン等の活用頻度が変わってくるのではないかとということです。ICTの活用は、本市の教育課題として、ここ何年も学校が重点として取り組んできた内容です。今後も、学校差なく成果を上げられるよう、施策の充実をお願いいたします。自分自身について言いますと、年齢が高くなり、ICTに関しては十分に理解し

ていない面もあり、その活用は発想が広がりにません。ぜひ、個々の学校の実態に対応しながら、今後の方向性を見据えて、市としての取組を推進していただきたいと思います。働き方改革にも関連して、2点、申し上げました。

(瀧沢葉子 指導課長) まず、いじめ、不登校等の対応につきましては、個々に変わってきておりますので、そこについては、今後も施策としては長欠児童生徒の報告を各学校からあげてもらっているわけですが、そのとらえ方や、それから、教育センターの方でも個別の事案によりの確に、細やかに応えていくという形をとってまいりたいと思っています。また、いじめは、各学校で迅速に対応して、報告をあげていただいているところですが、不登校については経験者というか、継続性が非常に認められますので、それをつなげていけるような制度の研究なども、今後行っていきたいと考えているところであります。また、SSWや適応指導教室、さわやか相談室、スクールカウンセラーの他に、小学校にもさわやか相談室が昨年度から設置され、月に1・2回程度ですが、行ったことによって、かなりの小学校の相談者が増えておりますので、一定の成果があったと考えております。不登校児童生徒についても、小学校のさわやか相談室や教育センターの活用率は、小学校では85パーセント、中学校では70パーセントというような、7割の子が関わっているということが個別に見たときにわかりましたので、かなりの子どもたちが関わっているということで、今後も進めていきたいというふうに考えております。続きまして、ICTの件ですが、非常に教員によって指導力がさまざまではないかということでもありますけれども、教育委員会としても技術指導とか、教員のスキルアップを行う研修を行ったり、また、主任を通して各学校で行っていただけるようなシステムを行ったりして教員のICTに関する指導力向上には努めていきたいし、対応を行ってまいりたいと考えております。以上です。

(中野住衣 委員) 不登校に関してですが、今朝も、NHKのニュースの中で取り上げられていました。不登校というと「つらい」という言葉を聞くことが多かったように思うのですが、今朝の映像で見た小学生は、「楽しい」と言っておりました。つらいと思って学校に行き、死んでしまいたいと思うより、お父さん、お母さんとの関係の中で家にいられることはうれしいというような内容を話していたと思います。随分昔は、子どもが学校を休みがちになると、できる限り早いうちに学校につれて来ようと、担任は個々のケースに配慮しながら動いたものです。今は、その状況が多様化し、一様な対応ではなくケースに見合った学校復帰を目指しているようです。例えば、学級担任との関係で放課後教室に登校する子、保健室に登校する子、校内のさわやか相談室に登校する子、学校には入れないケースとして市教育センターの学校適応指導教室に通級する子。昨年度は通級児童生徒は9名と少なかったようですが。また、市外のフリースクールに通級している子の話も聞きます。それぞれの児童生徒が、今自分に合った居場所をみつけて、今できることをやれる環境を見出すことができれば今後につながると思います。家庭、学校、関係諸機関が連携して、児童生徒の将来の社会自立に向けて、今できること、必要なことを進めることが大事ではないでしょうか。施策を充実している中で個々に対応できることを指導課長からもお聞きしましたので、一人一人に寄り添った対応がより一層できますようお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

(池野和己 教育長) 他にありましたら、お願いします。

(内田みどり 委員) 先程の不登校についてのお話の中で、中野委員からいろいろお話がありましたが、ここで、いじめの問題については、たくさん出てきているのですが、不登校についての部分は私も少



ないと感じました。ただ、これは不登校が起きてしまったからの対応については書かれているのですが、それを防ぐ対策みたいなものが載っていなかったような気がします。いじめ予防ということがいろいろ出ているのですが、不登校を起こさないための対策みたいなものは、何か考えられないかなと思います。そういうところは、いかがでしょうか。

**(瀧沢葉子 指導課長)** これをすれば不登校がなくなるという、決定的な方策はありませんけれど、まずは、学校教育が充実する、また、学級経営や学校での居場所が安定するということが大事な とうように思います。そういった点で、上尾市では、hyper-Q Uという子どもの居場所があるのかどうか、また、表情や言葉では表れてこないような子どもたちの立ち位置を把握する一つ的手段としてhyper-Q Uなども、一人一人の先生が状況を把握して、なるべく細やかな対応をしていくというところがあります。もう一点は、学力がついていけないというような子どもたちにとっても、学校がハードルが高くなりますので、やはり、そういうところも細やかに個別指導というところにも学校が気を配っているところであると思います。もう一点は、家庭の状況が非常に悪いということもありますし、夜遅くまでスマホをやっているという、生活環境が整ってこないことについては、健康教育なども含めて、そのときに対策をしていかなければいけないなというふうには思っております。今年度、センターで学校で活用していただけるような手引を作成して、配布したいと考えております。

**(内田みどり 委員)** やはり、保護者への呼びかけみたいなものも必要かなという気がします。いじめについては、いろいろ情報が来るのですけれど、不登校についての情報みたいなものは来ないですね。そういったところも、防ぐということも必要かと思っておりますので、ぜひ、お願いします。

**(池野和己 教育長)** 他にございますか。

**(細野宏道 教育長職務代理者)** 基本目標Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵについて、質問をさせていただきます。まず、38ページ、学校安全のことが記載をされています。パトロールを実施する。AEDを設置する。グリーンベルトを設置する。見守りサポート等を行うということで、子どもたちの周囲の環境を整えるということが実施をされていることが記載をされておりますが、子どもたちに、直に、どのように安全について働きをかけているのかということ、どういう施策を採っていくのかということをお聞かせを願いたいと思います。次は、43ページに、家庭教育の充実ということで、先程、冒頭に学校の働き方改革ということで、先生方の苦労というのが家庭教育の崩壊に根ざしているとは私と考えているのですけれど、43ページの中ほどに、「今後支援の枠組みや手法について検討が必要であると考えます。」という記載があります。どういうことを考えられているかということです。たとえば、埼玉県には「親の学習 埼玉県家庭学習支援プログラム集」というたいへん良い本があるので、そういう本を全家庭に配ったらよいのではとか、いわゆる家庭学習についてPTAにやっていただくのでしょうか、教育委員会としては一歩進んでやっていくことを考えておられるかということをお聞かせいただきたい。次は50ページになります。図書館のセカンドブックスタートという記載があります。図書館よりも、学校に伺いたいのですが、今、読書パスポートを小1に配布していて、一方では、学年が進むにしたがって読書離れが進むという記載もあります。それは、統計的にとられているのか、それによって新たな手法が見えてくるかもしれませんし、また、学校では、朝読書等の取組をどのように今後施策としてやるとか、そういうことをやられているのかということをお聞かせいただければと思います。最後になりますが、53ページの生涯学習に関するところで、アウトリーチコンサートを29年度は5校で開催をされたということですが、私は、情操教育の観点から、プロの生の演奏を聴

くことはたいへんよいことだと思いますので、できれば、中学校区ですとか、全小学校で開催ができればと思っています。予算の関係もあるので、そのへんの施策をお聞かせ願えればと思います。以上4点を質問させていただきます。

(荒井正美 学校保健課長) 細野委員さんから、学校安全の推進について、児童生徒への施策について載せた方がよいのではないかとありますが、確かに、今回の記載内容につきましては、行政が講じるべき安全対策について記載をしているところですが、やはり、委員さんがおっしゃるように、児童の視点で、児童が自ら自分の命を守る、危険を予測をして、自分で自ら安全を守るという意識の取得を目指しておりますので、そういったものも組み込んでいきたいと思っています。具体的には、児童生徒の安全推進事業であれば、各学校で心肺蘇生法の研修会というものを、今は中学校を中心にやっているのですが、小学校でも必要だということで、今年度、全校で実施するような形で進めているところでございます。特に、今回のAEDを各校に2台整備をしましたので、小学生においては、なかなかAEDを使って研修をするというのは難しいのですが、児童がたとえば、緊急事態が発生した時に、まわりの先生方を呼んで来たり、あるいは、ここにAEDがあるよと言って、学校全体で、児童生徒全体でみんなの命を守っている。そういった方法をとる必要がありますので、そういった視点で記載内容を考えさせていただきたいと思っております。また、学校安全パトロールですとか、通学路安全対策、特に、交通安全については各学校の方でも体験型の交通安全教室を開催したり、あるいは、UDトラックにご協力をいただいて、大型トラックが巻き込みが多かったりということもございまして、そういったところも実際にトラックに乗りながら体験的に危険な死角を確認するような、そういった取組もしております。そういった視点を織り込みながら記載内容を検討していきたいと思っております。

(小宮山克巳 生涯学習課長) 家庭教育のご質問いただきました。細野委員さんがおっしゃるように県で出しているプログラム集につきましては、内容が充実しておりますので、市のPTA連合会へも情報を提供し、そういったものを受けて、市がPTA連合会と協議しながら、さまざまなリーフレットの作成への取組を今行っています。たとえば、教育の原点となります家庭での教育の中で行動指針を定めて、実践的な行動を家庭でやりましょうとか、毎年、毎年テーマを変えて、それぞれの家庭への教育の働きかけを毎年進めていこうと思っています。課題となっておりますのは、幼稚園の保護者会で保護者の方と一っしょに家庭教育に取り組むところに対する補助金の制度がございまして。しかし、幼稚園の保護者会そのものが網羅的ではないということが現実で、減ってきているというのが実情です。保護者会を幼稚園の中で持たずに経営しているところが多くなっていることと、それから、最近、認定こども園への支援というのがまだまだ不十分で、そのへんが課題になっているということも十分認識しておりますので、それらの拡充等を視野に入れながら研究してまいりたいと考えています。

(島田栄一 図書館次長) セカンドブックスタートにつきましては、小学校1年生を対象に行っているところです。各学年の統計的なものはございませんが、今後、効果的な統計を検討していきたいと考えております。なお、図書館側からみますと、貸出しという指標が考えられますが、小学生相当の7歳から12歳までの区分があり、この年齢層も含めた図書館での貸出しが若干減っているという状況でございます。27年度においては小学生の貸出し数が増加しており、セカンドブックスタート事業の効果があったものと認識しております。そのほか、読書パスポートを活用して、スタンプラリーや、読書感想文を書いてもらう読書コンクールを行うなど、図書館の事業への参加の意欲を駆り立て

ることができるような事業展開を行っております。今後は、様々な統計を考慮し、新たな子どもたちに親しめる事業展開をしていきたいと思っております。また、学校との連携では、朝読書というものがございりますが、子ども読書活動支援センターが学校との支援の中で、要望される学校に、朝、センター職員が出向きながら、読書の支援を行っております。以上です。

(小宮山克巳 生涯学習課長) 学校で行いましたアウトリーチコンサートにつきまして、評価いただきまして、ありがとうございます。この事業は、実は音楽家の芸術活動を支援しようという大きな枠組みの中で平成26年度からスタートしました。実は、上尾市内で活躍される音楽家の方々は、市内でのネットワークがないということで、市内出身の方、あるいは、上尾にゆかりのある方同士を横に連携して、それでコンサートを開きましようということで、その活動を支援するということで、コンサートを毎年12月に開催しているところでございます。それとあわせて、上尾市内の小中学校出身の方も音楽家の中にいらっしゃいますので、それらの方をお招きし、5年間をかけて市内の小学校全校でという形で計画をしてみました。そういった中で、いろいろ学校の校長先生とかにご配慮いただきながら、日程調整し、学校によっては小学校、中学校合同で音楽会をやりませけれど、その第一部でコンサートをやってくださいとか、学校側のご希望をこちらも十分配慮しながら開催しているところでございます。非常に評判がよかったということで、来年もお願いしますということで、学校で報償費を出しますから、コーディネートをほしいとの要望がございまして、続けて開催した学校もでございます。今後もそういった形で学校側と連携しながら要望に応じて、プロの音楽家とコーディネートを図って、この事業を希望に応じて継続できればよいと考えています。以上です。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にありましたら、お願いします。

(中野住衣 委員) 7ページの教育研究開発事業のところに、東中学校が文部科学省の研究開発学校の指定を受けて開発している事業があります。今年度が取組の最終年度ということです。グローバルシティズンシップ科の研究ということで、グローバル化が予想以上に加速度的に進んでいく中、生徒にどんな力を付けていったらよいかということは、現在大きな課題で新しい指導要領の内容にも、ここにあるような自分の課題としてとらえ課題解決していかなければならないとか、主体的学びとか、これがキーワードになっています。これまでの研究でどういう形で成果がみられたのか、その内容を県や国に発信していくわけですが、そうした中で、私は、まず上尾市内の学校に成果を発信し、本市のこうした内容の研究の充実につなげる、研究の礎とすることが大切だと考えます。それについてはいかがでしょうか。

(瀧沢葉子 指導課長) 成果に関しましては、別冊の参考資料にもありますように、生徒の意欲、意識などが非常に高まっているということが見られて、他の学習活動の話合いも活発でよいところが見られています。今後の他校への内容の広げ方については、検討しているところで、成果を活かしていただけるような方向性を検討しているところでございます。

(池野和己 教育長) よろしいですか。

(中野住衣 委員) はい。

(池野和己 教育長) それでは、よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) たいへんありがとうございました。先程、説明にもございましたが、本日出された意見を踏まえまして、10月定例会に、今度は報告書の議案として提出されるとのことでございますので、本日ご発言いただきました意見以外に、お持ち帰りいただいて、ありました場合には、たいへん申し訳ありませんが、この評価にかける時間的な問題もありますので、9月7日の金曜日までに、事務局までご連絡をいただきましてお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。それでは、以上で協議を終了いたします。

## 日程第5 報告事項

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第5 報告事項」に移ります。本日予定されております報告事項は、5件ございますので、よろしくお願いたします。

(小林克哉 教育総務部長) 上尾市教育委員会8月定例会報告事項のご用意をお願いいたします。ページを開いていただきまして、「報告事項1 上尾市小中学校、幼稚園コンクリートブロック塀修繕の状況について」は森泉教育総務課長より、「報告事項2 平成30年度後期の文化芸術関係催事予定について」は小宮山生涯学習課長より、「報告事項3 市制施行・体育協会創立60周年記念第60回上尾市民体育祭について」は長谷川スポーツ振興課長が説明申し上げます。

### ○報告事項1 上尾市小中学校、幼稚園コンクリートブロック塀修繕の状況について

(森泉洋二 教育総務課長) 「報告事項1 上尾市小中学校、幼稚園コンクリートブロック塀修繕の状況について」ご報告いたします。報告事項の2ページをお願いいたします。6月18日に発生しました大阪府高槻市の小学校におけるブロック塀の倒壊事故で、小学生の児童が亡くなる事故が起きました。その事故を受けまして、6月の教育委員会におきましても、市内小・中学校安全点検についてご報告申し上げましたが、その後の対応につきまして、ご報告をさせていただきたいと思っております。こちら2ページにある表の真ん中あたりに「②ブロック塀で、高さ1.2メートルを超え、かつ、控え壁の間隔が、3.4メートル以下で設置されていない塀の有無」ということでございますが、こちらの●につきましてはすでに修繕等の対応が済んでいる学校になります。また、○につきましては8月24日まで、2学期が始まる前までに完了予定ということで載せさせていただいております。申し訳ございません。一点訂正がございまして、No.15の東中学校ですが、こちら●になってございますが、台風等の影響で当初の予定が若干ずれまして、こちら、現在○の8月24日までに完了予定ということで進めております。また、その右側に「③ブロック塀で「著しいひび割れ、損傷」の有無」という欄がございます。こちらにつきましても、●につきましては対応済み、○につきましては8月24日までに完了予定となっております。尾山台小学校、東小学校、大石南中学校につきましては、□となっております。こちらは9月8日完了予定ということで進めておりますが、2学期が始まりますので、児童生徒が入らないよう、安全のために、カラーコーン等を設置いたしまして、安全対策をとり

たいと考えております。また、表の下に、※がございまして、※1、※2には、上尾小学校、上平小学校がございまして、こちらは、すでに撤去等を終えている、又は進めているところでございまして、そのブロックの撤去とは別にフェンス設置の工事を予定しております。また、※4に関しましては、6月の報告以降に修繕が必要ということで、中央小学校、東中学校、大石南中学校から報告がございましたので、3校を追加させていただいております。報告は、以上でございます。

### ○報告事項2 平成30年度後期の文化芸術関係催事予定について

(小宮山克巳 生涯学習課長) 「報告事項2 平成30年度後期の文化芸術関係催事予定について」でございます。資料の3ページ目をご覧ください。1の第50回上尾市美術展覧会でございます。内容といたしましては、日本画、洋画、立体造形、工芸、書、写真の6部門で、書が市民ギャラリー、その他はコミュニティセンターを会場に展覧会を実施するものです。会期は10月16日から21日までとなっています。続きまして、2の第45回上尾市民音楽祭でございます。音楽祭は例年どおり3部門に分けて実施します。合唱祭は11月11日、邦楽祭は年が明けて2月16日、吹奏楽・器楽祭は2月17日に実施いたします。邦楽祭の会場はコミュニティセンター、それ以外は上尾市文化センターで実施します。3の第34回上尾市文化芸術祭でございます。この事業は、上尾市文化団体連合会の主催事業でございます。加盟団体によります公演と展示を11月2日から11月4日にかけて、コミュニティセンターで行うものです。4の上尾ゆかりの作家による美術展でございます。市制施行60周年の記念事業として初めて開催いたします。展示内容といたしましては、日本工芸会に所属する上尾市ゆかりの作家を中心に、洋画では日展関係者及び入選者など、優れた芸術作品の展示を行い、上尾市ゆかりの作家を広く市民の方々に知っていただくと同時に、身近で本格的な芸術に触れる美術展を計画してございます。5のあげおクラシックコンサートでございます。今回は市制施行60周年ということで、昨年度まで行っていたコミュニティセンターでの開催に加え、上尾中央総合病院の中村記念講堂でも開催いたします。内容は上尾市にゆかりのある音楽家によります本格的なクラシックコンサートを開催いたします。以上のうち1・2・4・5につきましては、それぞれ市制施行60周年記念の冠事業となっております。説明は以上です。

### ○報告事項3 市制施行・体育協会創立60周年記念第60回上尾市民体育祭について

(長谷川浩二 スポーツ振興課長) 4ページをお願いいたします。「上尾市民体育祭について」でございますが、こちらにつきましては、市制施行・体育協会創立60周年記念ということで行います。期日につきましては、平成30年10月7日、小雨の場合は決行となっております。時間は午前8時40分からとなっておりますが、雨が激しい場合は午前10時からということになります。会場につきましては、上尾運動公園陸上競技場、荒天時につきましては上尾運動公園体育館で行います。種目につきましては、支部対抗競技、加盟団体種目、一般種目の計15種目になります。表彰につきましては、支部対抗競技総合、1、400メートルリレーということになります。最後、主催のところですが、上尾市、上尾市教育委員会、上尾市体育協会の3者の共催ということになります。続きまして、5ページをお願いいたします。こちらが開催要項になります。5の日程のところ、受付、開会式、競技、閉会式等の時間、スケジュールがございまして、ご参照ください。7の表彰のところですが、支部対抗競技総合につきましては1位が賞状、優勝旗、優勝カップ、2位、3位には賞状とカップということになります。また、1、400メートルリレーにつきましても、1位が賞状、優勝旗、優勝カップ、2位、3位には賞状ということになります。10のその他のところですが、天候等の判定につきましては、午前6時に行います。次の6ページにプログラムがございまして、ご参照いただきたいと思います。以上です。

(今泉達也 学校教育部長) 「報告事項4 平成30年度上尾市中学校全国・関東大会の出場者について」と「報告事項5 平成30年7月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について」は、瀧沢副参事兼指導課長がそれぞれ報告いたします。

#### ○報告事項4 平成30年度上尾市中学校全国・関東大会の出場者について

(瀧沢葉子 指導課長) 7ページ、「報告事項4 平成30年度上尾市中学校全国・関東大会の出場者について」でございます。8ページの出場者一覧をご覧ください。水泳、硬式テニス、バレーボール、陸上、相撲、軟式野球の6競技、42名の選手が各大会に出場いたしております。7月30日には市長表敬訪問を行い、市長から激励の言葉をいただいております。

#### ○報告事項5 平成30年7月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について

(瀧沢葉子 指導課長) 続きまして、9ページ、「報告事項5 平成30年7月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について」でございます。10ページをご覧ください。新規認知は、小学校2件、中学校2件、解消に向けて取り組み中が小学校14件、中学校30件となっております。以上でございます。

(今泉達也 学校教育部長) 報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ただ今、報告事項につきましてそれぞれ説明をいただきました。これにつきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) 特にないようでございますので、報告事項については、以上で終了とさせていただきます。

#### 日程第6 今後の日程報告

(池野和己 教育長) 続いて、今後の日程報告をお願いいたします。

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、9月の主な日程をご案内させていただきます。9月15日、16日、22日、29日に、市内小・中学校各校において運動会、体育祭が予定されています。今年度も昨年度同様、この時期にすべての運動会、体育祭が開催される予定です。9月15日、土曜日は、全中学校で体育祭が開催されまして、小学校は、16日、日曜日に4校、翌週22日、土曜日に16校、29日、土曜日に2校の開催予定となっております。なお、入場開始時間については、各学校によって違いますので、ご出席される際にはご注意くださいと思います。また、9月の定例教育委員会ですが、9月25日、火曜日、午前10時からの開催予定としております。よろしくお願いいたします。日程報告は、以上でございます。

(池野和己 教育長) それでは、日程につきまして何かありましたら、お願いいたします。

~委員全員から「なし」の声~

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

~委員全員から「はい」の声~

## **日程第7 議案の審議**

(池野和己 教育長) それでは、ここからは、非公開の会議といたします。恐れ入りますが、傍聴の方は、ご退室をお願いいたします。

~傍聴人退場~

(池野和己 教育長) それでは、議案の審議を行います。「議案第35号 平成29年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について」説明をお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 議案第35号につきましては、西嶋教育総務部次長が説明申し上げます。

### **○議案第35号 平成29年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について**

(西嶋秋人 教育総務部次長) 議案書の1ページをお願いします。「議案第35号 平成29年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について」でございます。提案理由です。平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、市長に意見を申し出たいので、この案を提出するものでございます。なお、平成29年度決算につきましては、すでに7月17日に監査委員による決算審査を終えております。教育関係の決算額ですが、1歳入決算額、収入済額、2億489万3,550円、2歳出決算額、予算額45億6,841万2,000円、支出済額 44億6,528万7,318円、翌年度繰越額、繰越明許額、694万6,000円、不用額9,617万8,682円となっております。なお、2ページから4ページは、歳入決算・事項別明細書、5ページは、歳出決算・事項別明細書となっております。本日議決をいただきましたのちに、9月議会後に行われる決算特別委員会により審議されることとなります。説明は以上でございます。

(池野和己 教育長) ただ今、議案第35号について説明をいただきました。これにつきまして、質疑、意見等がございましたら、お願いしたいと思います。

(岡田栄一 委員) 不用額について教えてください。

(西嶋秋人 教育総務部次長) 主に、各種契約の請負残といいますか、執行残といいますか、入札等を行いますと、当初の予算額よりも低く契約金額が設定されますので、残額が発生します。それを集めたものになるとか、あるいは、光熱水費で予算よりも低くて済むというようなことで発生しているものです。

(岡田栄一 委員) 使わなかったということとは違うのですよね。

(西嶋秋人 教育総務部次長) 執行率という、ほぼ90パーセントを超えておりますので、使わなかったということはないです。

(岡田栄一 委員) 節約したということですね。わかりました。

(池野和己 教育長) 他にございますか。よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それでは、ないようですので、採決に移ります。「議案第35号 平成29年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議がないものと認め、原案どおり可決いたしました。

(池野和己 教育長) それでは、委員の皆様から他にご意見、ご要望等ございましたら、お願いします。

(内田みどり 委員) 暑さ対策ですが、9月の運動会がありますが、このような気温が続いていた場合、体育祭、運動会の開催等はどうなさるのかというのが質問です。それから、本部席などテントがあるのですが、子どもたちにはテントがありません。子どもたちを長時間、炎天下におくというのは、保護者としてはとても心配なところがありまして、そういったものの対策はいかがでしょうか。それからもう一つ、子どもたちの紅白帽はたいてい普通にかぶっているだけなのですが、幼稚園などですと、襟のところに布が付いているものがあったりします。そういったものの対策というのはいかがでしょうか。また、中学校では、帽子を一切かぶらないで、そのままなのですが、キャップみたいなものを取り入れられないだろうかというのが、ご質問と意見です。

(池野和己 教育長) それでは、とりまとめて、暑さ対策と体育祭の関係について、回答をお願いします。



(瀧沢葉子 指導課長) 運動会の開催につきましては、今のところ予定どおりということになっておりますが、各学校でいろいろな対策を行ってまいります。また、学校保健課から出している運動の制限なども含めまして、後ほど、お答えします。今は、まとめておりませんので、少し把握等をしながらと思っています。

(池野和己 教育長) 注意喚起も含めて、こちらからも、どういう状況で今準備を進めているのかを把握していきたいと思います。

(内田みどり 委員) 中学校は、特に帽子が全然なくて、そのまま炎天下でということもあるので、何かキャップですとか、そういったものも。特に女子は持ってもいないと思いますので、どうなのでしょう。

(池野和己 教育長) なかなか、急に、今から今年度に間に合わせることは難しいと思いますが、とにかく、それも含めて、学校の方でどのような準備を進めているのか、それも含めて、教育委員会も健康に十分配慮していかなければいけないと思いますので、これについては、指導していきたいと思います。実際、私も学校訪問をしていて、校長から直接テントを張りたいとか、いろいろ言われたこともありますので、いろいろ準備を進めていってくれているとは思いますが。ありがとうございます。それについては、そういう方向で進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

(池野和己 教育長) 他には、よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

## **日程第8 閉会の宣告**

(池野和己 教育長) 以上で予定されておりました本日の日程はすべて終了いたしました。これをもって、上尾市教育委員会8月定例会を閉会いたします。たいへんお疲れ様でございました。

平成30年9月25日 署名委員 細野 宏道